

# 山田の里だより

発行者：山田の里グリーンクラブ 責任者：西本紘二 神戸市北区松が枝町2丁目21-2

TEL&FAX 078-583-1069 E-mail nishimoto-koo@lake.ocn.ne.jp

## 丹生山田の景観・文化を次世代へ

神戸市北区役所山田出張所長

林 芳 宏

新型コロナウイルスの感染が長引くことで、外出もままならず、日々接している皆さん方の、そしてなにより自身の体力低下を実感します。気力も落ちたり、コミュニケーション機会も減ったり、コロナ後の影響が心配になります。

一方、我々にとって何が大切かを振り返る、気付きの数年でもありました。困難な時期を乗り切るため、助け合うこと、自然環境とともに生きること、持続可能な営みをする、そして、大切にしたいことをしっかり次世代に伝えること。

このような気付きを日々の生活で体感し、実践されている皆さまには敬意を表します。時代をも取り込み、コロナ後のさらなる活躍に期待します。

クラブの活動舞台である「丹生山田の里」は、自然に恵まれ、貴重な文化財が点在する神戸が誇る里山地域。一方で人口減少問題に直面しており、神戸市では、いま山田町の皆さまとともにまちの活性化に取り組んでいます。

農業振興や空き家など、いくつかの課題はありますが、将来像を共有し、実現して

いく仲間づくりと魅力づくりに取り組んでいます。

市も「新たな魅力づくり」「六甲山・丹生山系等の登山道や里山整備」「神出山田自転車道の活用」「歴史文化遺産の保全・伝承」「教育の特色化や国際交流」など、山田の魅力に磨きをかけていこうとしています。環境面からも「生物多様性の保存」などの事業を進め、活力と魅力に満ちた里山の復活を目指しています。

神戸の魅力(の一つ)は、多様性を大切にしていること。さまざまな分野で、多様性を構成する一つ一つの魅力資源のレベルが高く、このまちで各々が輝き合うことで光が重なり、相乗効果を発揮している都市です。

地域特性の多様性を担う山田町は、市街地にこんなに近いところにありながら、美しい里山景観と文化が凝縮する特筆すべき地域です。大都市神戸の魅力空間に引けを取らず、しかも身近に存在するからこそ眩しく輝いています。

山田に愛着を持つ方々の努力、献身、知恵で育まれてきたこの (2Pへ)

### 山田の里：あんな話・こんな話

#### 山田の里の民話と歴史話：第5話 稚児ヶ墓山物語(1)

ふもとの村々は、まだ朝もやに包まれています。鶏が時刻を告げています。その頃、丹生のお山では、いつものように一日が始まりました。山頂の山王社に神官が祝詞を奉納し、明要寺の講堂ではお坊さんたちの勤行(読経。回向)が行われていました。

稚児たちもお供え物を捧げてせわしく立ち働いていました。あちらこちらのお堂からも、お勤めの読経が木立の間を流れてきます。朝の支度忙しい台所から炊煙が立ちのぼっていました。

山田の村々では、夜明け前からの野良仕事の手を休めた人々は、白み始めた東の空を押し、丹生のお山に手を合わせて、(3Pへ)

「山田の里・学習の森」

親子参加の体験型環境学習

「収穫祭と農業体験」

日時：6月12日(日)10:00~12:00

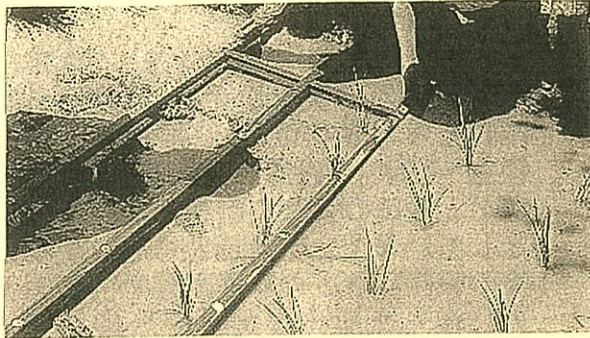
参加者：親子14家族43名、会員10名、合計53名。

内容：①ジャガイモ・タマネギ・サニーレタス・ニンジンの収穫。

収穫には結構力が必要で子どもたちは苦勞していました。

②収穫した野菜をお土産として14家族分造りました。

③茎が長く倒伏するため栽培が難しい「古代米」を作っています。山田の里では、一人でも田植えができる木枠を使います。狭い棚田には重宝な農具です。



木枠の田植用農具(撮影:2022.06.12)

桂木小3年生

「サツマイモの生育記録」

(植付けから収穫まで：月1回測定)

(単位：cm)

測定日	1班	2班	3班
5月24日	約15	約15	約15
6月25日	39	43	45
7月22日	108	115	114
8月25日	175	150	135
9月22日	168	153	194
10月18日			

8/25の2班/3班,9/22の1班/2班は計測株が枯死、同じ株の成育の良い株を選定した。



順調に育っています(撮影:2022.09.22)

(1Pより)

神戸の宝をいかに次の世代に引き継げるかが、コロナ後の課題になります。

神戸の多様性は、個性あふれる各種団体の存在にも当てはまります。北区でもさまざまな団体が、豊かな地域づくりに貢献しています。こうした活動の交流拠点になればと、今年、山田出張所に「市民参画スペース」を設置しました。登録団体が集い、地域の課題解決や魅力あるまちづくりを進める場所として、また子ども居場所としてご利用いただければ幸いです。

また、北区役所では、地域団体の交流プラットフォームとして、「北つなnet」をWEB上で開設しています。こちらでも団体間の交流を期待しており、ぜひ、仲間に加わってください。

先月、東京から女子大学生が山田町に来られ、一週間ほど滞在。出張所にも来られ、山田の昔話の紙芝居を楽しく見られて帰られました。「就職前に里山で暮らす体験がしたかった」とわざわざ山田

町を選んで来られました。お話を聞いて、遠くからでも若い人を引き付ける魅力にさらに磨きをかけたいと感じました。

コロナ禍で校外学習ができず、大原中学校と大池中学校では、一年生が山田民俗文化保存会の案内で、山田町内をハイキング。自然や史跡に親しみ、思い出深い一日を過ごしました。今年、山田中学校の生徒さんが文化祭で山田町の紙芝居を発表しますし、市立神港橋高校の生徒さんが、山田の歴史を舞台にした絵本を執筆中です。若い人への山田の景観・文化の伝承は、確実に一步を踏み出しています。

先日、皆さまの活動地を訪問。広い畑で各種作物を丁寧に育てておられるのを見学しました。皆さまの活動ぶりを地元の子もたちだけでなく、遠くから来訪される若い人にも見ていただきたいと思いました。

多くの人に関心や愛着を持たれ、育まれてきた山田町です。さらなる魅力づくりの一端を担う皆さまの活躍に期待します。

情報：みたり・きいたり (25)

他の花脅かす外来種

最近、住宅地で鮮やかなオレンジ色の花の群生が見られることがあります。住宅街の空地、道路の路肩や植え込みに、さらに、河川敷にも群生するようになっていきました。美しいけれど逞しすぎるために、2006年に国の特定外来種に指定されました。

実はこの花、『オオキンケイギク(大金鶏菊)』といって、他の花を脅かす外来種です。

三田市では、約30年前にニュータウン開発に伴って街を彩り、人々を喜ばせた花は今、在来種に牙をむく脅威の存在になっている。

関係者によると、1988年と93年頃、「フラワータウン」の名称にちなみ、多彩な花で街を飾ろうと企画しました。ナノハナ、バーベナ、オリエンタルポピー等々。ところが、植えたオオキンケイギクがその強い繁殖力で他の植物が植わる場所を次々と奪い、斜面を覆い尽くしてしまいました。

2006年、国が特定外来植物に指定したのに伴い10年には市が根こそぎ抜いた。それでも翌年には再びオレンジ色の花がなびき、生命力の強さをまざまざと見せつけたという。

「駆除するには除根作業を何年も重ね、土を入れ替えるなど、相当の労力と資金が必要になる」と。近くに住む女性が「色が鮮やかで、玄関先に飾ると映えるの」、生態系を守る

ためにも、持ち帰らないでと市の担当者。

全国各地で対応苦慮

環境省によると、オオキンケイギクはキク科の多年草で、1880年代に観賞用として北米から持ち込まれたという。

岐阜県各務原市では、1988年から木曾三川公園で地域振興として「オオキンケイギク祭り」を開いていたが指定を受けて中止。

神戸市では、オオキンケイギクを含めて地域固有の生物に影響を及ぼす外来種を「地域版ブラックリスト2015」に選定して注意を呼び掛ける。駆除に対して上限10万円の活動費を補助する制度を設けている。

外来生物法

外来の動物の広がりによる生態系や人の生命、農林水産業への被害防止を目的に、2006年に施行され42種類が、翌年にはオオキンケイギクを含む43種類を追加、18年4月時点で148種類が指定されている。許可なく野外に放つたり植えた場合には3年以下の懲役又は300万円以下の罰金が科せられる。



日の峰3丁目の空地にて

(1Pより)

今日一日の家内の無事を祈っていました。三木城が秀吉軍に包囲されていることも、お山が三木城に味方していることも、村人たちは知っていました。家の二男・三男が、その手伝いに召し出されている農家もありました。その日、天正七年(1579年)5月22日は、いつものように明けていきました。

木立の中にお堂の建ち並ぶお山は、山頂の明要寺本堂辺りの静けさを除いては、僧兵や武士が備えを固めて殺気立っていました。その一角で、目を血走らせた僧兵と武士の団が、声高に談合(軍議)をしていました。つい先頃、三木城へひそかに米を運んでいた寺方の者たちが、敵兵の待ち伏せに合って、一人残らず殺されるといった事件があったのです。敵方の間者(スパイ)がもぐり込んでいるのではないかと、密告者がいるのではないかと、明要寺の役割がしれたからには、遠からず攻撃もあろう。備えは大丈夫か、などと、口々にしゃべり合っていました。少し下った辺りでは、汗とほこりにまみれた団が黒々と休んでいました。雑兵として狩り集められてきた人々でしょう。この時、お山には、僧侶や神官、雑用、子供なども含めて二千人もの人たちが暮らしていました。

洋の東西を問わず、宗教のかかわる戦いは

残酷なものでした。天下統一を目指す織田信長の戦いもそうでした。比叡山延暦寺の焼き討ちも、石山本願寺との戦いも、一向宗門徒に対する伊勢長島や越前などでの戦いも、「皆殺し戦争」でした。この夜の明要寺攻めもそうでした。

羽柴秀吉の弟秀長の率いる兵500は、夜陰に乗じて丹生山の肌張り付くようにして登っていきました。折から強まってきた風雨の中、寺方の見張りの者は、この羽柴軍の動きに気付くことはできませんでした。

山の一角に火の手があがりました。「敵襲だー」の叫びに山中が騒然となりました。

羽柴方は十分に下見(調査)がしてあるかのように、縦横に駆け回り建物に火をつけていきます。寺方とみれば、お坊さんでも老人でも容赦なく斬り殺していきます。火炎は強い風雨にあおわれて勢いづき、山は火の海となりました。阿鼻叫喚の惨劇のなかで、「子供たちだけは助けよう。」とお坊さんたちは、燃え広がる炎の間を稚児たちを探し集めて、奥の院の帝釈山へと尾根伝いに逃しました。それを見届ける暇もなく、ご本尊の仏像や經典などのお寺に伝わる大切な品々を安全な場所に移しました。そのうち、戦いの渦は山上へと押し上がってきて、お坊さんたちは次々とその中へ巻き込まれていきました。(次号へ)

活動状況

年 月 月間活動日 月間参加者	主な活動実績・予定
R..4年4月 活動日数:3日 参加者数:29名	① 野菜の手入れ、芽欠き・除草 ② サツマイモの畝づくり ③ 観察ルートの整備・補修
R.4年5月 活動日数:5日 参加者数:42名	① 野菜の手入れ(除草・支柱) ② 里山林・野菜の手入れ(除草) ③ 桂木小:1学期環境体験学習
R..4年6月 活動日数:7日 参加者数:51名	① 山田中トライやる、2日4名 ② 収穫祭と農業体験14家族 ③ ジャガイモの収穫、林内整備 ④ 古代米の田植え、水遣り
R.4年7月 活動日数:3日 参加者数:31名	① ソーラー電気柵設置、水遣り ② 野菜の収穫、里山林の手入れ ③ 耕耘機で耕作、水遣り
R.4年8月 活動日数:3日 参加者数:32名	① キュウリ・インゲン支柱 ② 水遣り、畝づくり、林内整備 ③ 古代米支柱、耕耘機耕作
R.4年9月 活動日数:4日 参加者数:41名	① 大根種まき、枯草集積堆肥化 ② 白菜・ブロッコリー植付け ③ 里山林の手入れ、電気柵補修

ご案内

会員募集中

活動地:神戸市北区山田町原野字平ヶ尾16  
(コープデイズ神戸北町店西側200m、ホームセンターダイキ西側100m、万代スーパー西側100mの里山林内)

活動日:原則毎月第1・第3日曜日、第2・第4火曜日(変更月あり事前確認を・・・)

時間:9:00~12:00.参加し易い時間帯となっています。

年会費:お一人1000円

会員数:21名(女性10名・男性11名)。(10/1)

活動:通常活動、①里山林の手入れ、②四季折々の農産物の栽培、③椎茸栽培その他  
:特別活動、①山田中(1学期)・大原中(2学期)の「トライやる・ウィーク」、②桂木小「環境体験学習」のサポート(1学期・2学期)、③体験型環境学習(収穫祭・林内整備等、年間3回実施予定)。

特別活動

特別活動の実施状況と予定  
2022年度(R.4年4月~R.5年3月)

- 桂木小3年環境体験学習(1学期)  
日時 5月24日(火)9:00~12:00  
内容 ①ネームプレートづくり、②自然観察、③サツマイモの植付け。  
参加者 児童72名・先生5名・合計77名、会員12名、総計89名。
- 山田中「トライやる・ウィーク」  
日時 6月6日(月)、8日(水)  
9:00~15:00  
参加者 6日:男女子各1名・合計2名。  
8日:男子2名。  
内容 6日①文化財探訪、②御坂サイホン(淡山疎水)、③北区山田(出)で文化財、里山保全活動の学習  
8日①農業体験、②林内整備。
- 体験型環境学習 ~収穫祭と農業体験~  
日時 6月12日(日)10:00~12:00  
参加者 14家族43名、会員10名。  
内容 ①タマネギ・ジャガイモ・ニンジン・サニーレタスの収穫。  
②古代米の田植え、(約100株)
- 桂木小3年環境体験学習(2学期)(予定)  
日時 10月18日(火)9:00~12:00  
内容 ①フォトフレームづくり、②自然観察、③サツマイモの収穫  
参加者 児童72名、先生4名
- 里山で遊ぼう!収穫祭と昔遊び(予定)  
日時 10月30日(日)9:00~15:00  
内容 芋掘り・焼き芋、竹馬、リース他
- 大原中「トライやる・ウィーク」(予定)  
日時 11月7日(月)・9日(水)・11日(金)、9:00~15:00  
内容 ①里山林の手入れ、②農業体験、③木工クラブ、④文化財探訪
- 桂木小2年生活科体験学習(予定)  
日時 11月8日(火)9:10~13:00  
内容 自然散策、工作、ゲーム他

「山田の里だより」第72号を発行致しました。ご高覧の程お願い申し上げます。  
コロナ禍のもと、活動は従来通りの安全対策を講じながら実施しています。(紡)

山田の里グリーンクラブは次の団体様よりご支援を頂いています。(敬称略・順不同)

- ☪ 公益社団法人 日本フィランソロピー協会 (TOYO TIRE グループ環境保護基金)
- ☪ 一般財団法人 セブン-イレブン記念財団
- ☪ 公益社団法人 兵庫県緑化推進協会
- ☪ 公益財団法人 コープともしびボランティア振興財団